

おかざきじょうあと ごまんごく  
岡崎城跡の五万石ふじ

<概要>

員 数 7株

「岡崎城跡の五万石ふじ」は、岡崎城跡（岡崎公園）の南西部、乙川<sup>おとがわ</sup>を望む1,300 m<sup>2</sup>の範囲に生育するフジの古株である。かつて岡崎城の入り口付近にあったものを現在の場所に移植したと伝わる。岡崎藩の所領石高にちなんで「五万石ふじ」と呼ばれており、5月初旬の花期には、約120 cmに及ぶ花穂が開花し、優美な姿を展開する。

「五万石ふじ」は、古くから岡崎の人々に身近なものとして親しまれ、大切にされてきた歴史がある。昭和38年には、岡崎市指定天然記念物に指定された。また、このフジに由来し、昭和45年には、フジの花が岡崎市の花に選ばれている。その後、平成3年には、「五万石ふじ」が岡崎市のふるさとの名木に選定されている。所有者である岡崎市は、この「五万石ふじ」を将来にわたって保存・活用していくため、関係部局が連携し、管理を行っている。文化財としての価値を維持するための適正な管理が行われているほか、「五万石ふじ」の魅力を広くPRするための事業として「五万石藤まつり」を開催するなど、岡崎市全体で「五万石ふじ」を保存・活用する体制が整備されている。

これらのことから、「岡崎城跡の五万石ふじ」が県指定天然記念物にふさわしいものと考え、県の天然記念物に指定し、より一層の保護及び活用を図ろうとするものである。



岡崎城跡の五万石ふじ 開花状況



岡崎城跡の五万石ふじ 花穂  
(写真は全て愛知県提供)